

「本のまち 明石」の取組

明石市ではこれまで、「いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届く『本のまち明石』」の実現に向けた様々な施策をあかし市民図書館を核として、学校や他施設とともに展開し、2015年度にトリプルスリーの目標の一つとして掲げた「本の貸出冊数年間 300 万冊」を、2019年度に達成しました。

今後は、本市の重点施策の一つであるやさしいまちづくりと本のまちづくりを一体的に進めるため、障害の有無に関わらず読書を楽しめる読書バリアフリー環境の更なる充実を図ります。

1 市立図書館における読書バリアフリーの取組

(1) 図書館のユニバーサル・サービスの内容・利用状況

市立図書館では、市内在住の方のうち、障害者手帳をお持ちの方で図書館への来館が困難な方もしくは、活字による読書が困難な方（視覚に障害のある方、高齢者、肢体不自由な方や発達・学習障害のある方など）を対象に、以下のとおりユニバーサル・サービスを提供しています。（※参考資料あり）

【ユニバーサル・サービス登録者数】

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (2021.12月末)
登録者数	22人	24人	35人	41人	46人

①点字・デージー図書の貸出冊数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (2021.12月末)
点字	2冊	4冊	8冊	96冊	9冊
デージー	21冊	28冊	41冊	266冊	597冊

※「デージー資料」とは、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な方のために作られたデジタル録音図書のこと。

②無料郵送貸出サービス(視覚障害2級以上の方が対象)

点字・デージー資料を自宅に無料で郵送する貸出サービス

	2017年度 (9月～開始)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (2021.12月末)
貸出延べ人数	2人	1人	3人	19人	12人
貸出冊数	9冊	1冊	6冊	108冊	29冊

③来館困難者への宅配サービス

障害のある方及び65歳以上の高齢の方で来館が困難な方に対する訪問による図書の無料配送・回収サービス

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (2021.12月末)
登録者数	22人	14人	17人	20人	22人
貸出延べ人数	163人	161人	171人	192人	143人
貸出冊数	1,048冊	1,009冊	1,318冊	1,590冊	1,160冊

(2) 市立図書館のこれまでの主な取組状況

- ・ あかし市民図書館にユニバーサルコーナーの設置（2017年1月）
（※ユニバーサルルームの設置に伴い、機器等を移設（2019年10月））
- ・ 西部図書館に拡大読書器、音声読み上げ機を設置（2021年1月）
- ・ 「世界の読書バリアフリー児童図書展」をあかし市民図書館、西部図書館で開催
（2021年1月～2月）
- ・ 西部図書館のサイン表示をユニバーサル仕様に更新（2021年3月）
- ・ 図書館案内の音声CDの作成し、図書館、障害福祉課等で配布（2021年6月）

(3) 2022年度における市立図書館での主な取組予定

- ・ 自宅等でも読書が楽しめるよう、新たに導入する音声読み上げアプリのアカウント貸出を開始
- ・ 西部図書館に読書バリアフリーコーナーを新設
- ・ 図書館への来館が困難な方の手元に本を届けるため、高齢者福祉施設等へ図書を宅配
- ・ あかし市民図書館に点字ディスプレイ機器の設置

2 学校における取組

(1) 読書バリアフリー環境の充実

視覚障害はもちろん、文字を読むことが難しい児童生徒も読書を楽しむことができるよう、補助機器等の設置を行います。

①自動音声読み上げ読書器の貸出

視覚障害や、読書が困難な児童の読書を支援する機器を、必要とする学校へ教育委員会から貸出をしています。

②大型絵本の設置

大型絵本は、障害の有無に関わらず、一緒に読み聞かせを楽しむことができる図書のひとつです。全小学校、養護学校及び希望する中学校への設置とともに、随時更新しています。

③デージー図書の設置

全小中学校及び明石養護学校の学校図書館に、デージー図書を公益財団法人伊藤忠記念財団からの寄贈により設置しました。また、児童生徒の状況に応じて、教科書に取り上げられる作家の作品や百人一首など、必要なタイトルを設置しています。

④その他関連機器の設置

リーディングトラッカーやデスクライト、拡大鏡、書見台などを、児童生徒の状況に応じて設置しています。

※「リーディングトラッカー」とは、読みたい行に集中して読めるように、両隣の行の文字を隠して読み進める読書補助具。

(2) ビブリオバトルの実施

Biblio（本を意味する接頭語）+battle（戦い）は、参加者同士で本を紹介しあい、もっとも読みたいと思う本を投票で決める取り組みです。この取組は学力を支える読解力や他者の考えを理解する力、自分の考えを伝える表現力が養われ、主体的・対話的で深い学びにつながる活動と考えられることから、引き続き年間指導計画の中に位置づけ、取り組みをさらに拡げていきます。

① 当初導入スケジュール（新型コロナ前計画）

	中学校	小学校
2018年度	・教科担当者会等で、魚住東中学校の成果をもとに実施方法等を協議	・読書活動が活発な学校(王子小学校)と協議し、ビブリオバトルの効果等について説明
2019年度	・全校での実施を目指す（取り組む学年は各校で決定）	・モデル校（王子小学校）で、授業や特別活動等の中で取り組む。 ・教科担当者会等で、モデル校での取り組みをもとに実施方法等を協議。
2020年度～	・引き続き全校で実施	・全校での実施を目指す（取り組む学年は各校で決定）。

② 実施校数

	2019年度	2020年度
小学校	(調査なし)	11校
中学校	13校	8校

(3) 学校図書館の図書貸出冊数

図書貸出冊数は、学校司書の配置に伴う環境整備が進んだことや、授業における積極的な学校図書館の活用を受け、新型コロナの影響があるものの、年々増加しています。

貸出冊数	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度 (2021.12月末)	
	計	1人あたり	計	1人あたり	計	1人あたり	計	1人あたり	計	1人あたり
小学校	376,733	26.1	428,834	27.0	454,438	28.2	477,839	29.4	407,261	24.6
中学校	39,832	6.0	51,766	6.9	50,797	6.8	44,253	5.9	35,375	4.70

(4) 学校司書の配置

現在、全小中学校41校に学校司書14名を配置し、学校図書館の環境整備や利用促進に向けた取組を進めています。

① 業務の内容

- ・ 授業支援（オリエンテーション、ビブリオバトルの補助、授業等関連図書紹介、読み聞かせ）
- ・ 環境整備（展示・掲示物作成、蔵書点検、図書の修理）
- ・ 公共図書館による団体貸出手配
- ・ 図書の購入、除籍（選書、選定、検品、データ登録、排架、梱包）
- ・ 除籍（選定、梱包）
- ・ 学級文庫への貸出（選書、搬出）
- ・ 昼休み及び放課後の学校図書館開館
- ・ 図書館だよりの発行
- ・ 図書委員会活動の支援

(5) 今後の取組

子どもたちの読書習慣を根付かせる取り組みとして、学校図書館の更なる活用の推進や、貸出冊数及び「子どもに伝えたい「本」感動大賞」の参加者の増加を目指します。また、希望者を募るかたちでビブリオバトルの全市大会などの実施を検討します。

加えて、児童生徒一人一台のタブレット端末が導入されたことに伴い、学校図書館の蔵書とデジタルコンテンツや情報源についてのリンク集やパスファインダーを提供することで学校の調べ学習を支援できるよう、学校司書の育成を図ります。

※「パスファインダー」とは、あるテーマについて調べるときに役立つ基本的な図書資料、情報源、その探し方などを紹介したガイドとなる情報資料。

ユニバーサル・サービスでできること

こんな資料が利用できる！

- デイジー資料
- 点字資料
CD・DVD 資料
大活字本・LLブック
- サピエ図書館



読書支援機器が利用できる！

- 拡大読書器
読み上げ機（よむべえ）
- デイジー再生機
リーディングトラッカー
老眼鏡・拡大鏡



来館の難しい方も利用できる！

- 電子図書館（●点字データ）
移動図書館（めぐりん・くるりん）
宅配サービス
- 郵送貸出サービス



他にもいろいろ利用できる！

- 対面朗読室
車椅子の貸出
簡易筆談器
補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬など）を伴っての入館



- 印のついたサービスのご利用には、通常の利用登録のほかにユニバーサル・サービスの登録が必要です。各サービスの詳細は館内で配布している利用案内などをご覧ください。